

年末ご挨拶 常務取締役 木村 正義



早いもので、今年も一年が暮れようとしています。気象条件も厳しくなる中、現場の第一線で活躍されている職員と興伸工業、協力会社の皆さんには心より感謝いたします。

当社では平成18年に統合マネジメントシステム（国際規格、品質、労働安全衛生、環境）の認証を受け活動を続けて9年目となりますが、今年10月、11月と休業災害が発生いたしました。

幸いにも被災された方々は、既に仕事に復帰されていると聞き安堵しているところです。

災害が生じた現場を担当する皆さんは、再発防止を図る上でもシステムの手順通り、新たなリスク低減策を策定して下さい。

本年度末までには土木工事10カ所、ノンフレーム工事3カ所、建築工事2カ所の合わせて15カ所が稼働を予定しておりますが工程が厳しい現場がほとんどです。

これからの時期は冬季特有の労働災害の発生が想定されます。道内建設業の10月末現在の労働災害による死者は、昨年同時期の17名を大きく上回る23名と危機的状況となっています。しかも休業災害と合わせた発生件数が、昨年の765件から729件と減少している中での状況です。このことは、言い換えると「一旦事故が発生した場合、重大・重篤なことになる。」ことを意味していることと思います。

凍結による歩行中の転倒、建設機械や車両のステップからの転落災害が懸念される季節でもあります。作業効率だけではなく、作業の細部にはより一層の危険予知が必要となります。

また遠隔地からの移動の際は路面状況が刻一刻変化します。時間にはゆとりを持った早めの出発と、周囲の状況に注意を払い安全運転で移動願います。

条件の厳しい現場が多くありますが、これまで培ってきた当社の経験と技術を生かし、これからの全現場が無事故無災害で工事を完成できるよう全員一丸となって頑張りましょう。

併せて平成25年に開設した東北営業所も徐々に活性化し、職員と協力会社の安定した仕事を確保すべく、営業活動にも経営陣全員で力を注いでいます。

来年の3月26日には北海道新幹線が開業し、東京10往復、仙台1往復と予定されており、函館～東京4時間2分、函館～仙台2時間38分と大幅に短縮され、これまで以上にスピーディーに物事に対処できるようになります。

世の中の流れは速いものだと、今更ながら感じておりますとともに、北海道新幹線開業と同時に函館圏も大いに活気づいて欲しいと希望しています。

皆様には年末を無事故無災害で過ごされ、明るく元気な新年を迎えられますことを祈念申し上げます。

安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行

平成27年12月15日
http://www.tonuma.com/
第213号

“土木の日”に記念品を届けました

土木学会では自らのホームページで、“土木の十一月十八日”を分解すると十一と十八になることと、土木学会の前身である「工学会」の創立が明治12年(1879)11月18日であることから、11月18日を「土木の日」と制定しました”と説明しています。

当社では例年この日に、当社の管理下で働くすべての人々に、土木技術に対する認識を深めていただくため、記念品を手渡ししながら日頃の苦勞を称えています。

毎年配布に先立って担当者からこの日の由来について話していますが、事業所によっては知らされていない人が多く、いささか驚かされます。

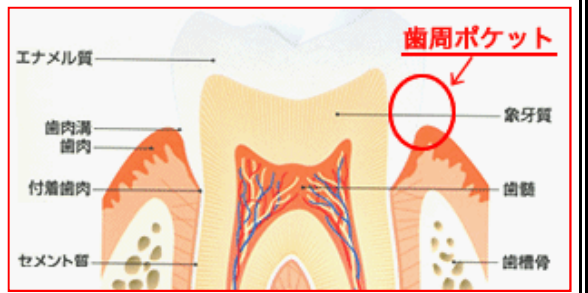
それでは各作業所から送られてきたスナップを紹介しましょう。



今月は“歯周病”のはなしを..

今年も年の瀬と新年を迎える頃となって参りました。この時期、忘年会やクリスマス、新年を迎えての家族の団らんや帰省中の旧友との再会など、普段以上に飲食の量が増えることと思われます。

そこに水を差すようですが歯周病について紙面をお借りします。これは朝のラジオ放送で聞いた話ですが、「風邪は万病の元」といいますが、近年の研究によって歯周病は全身疾患との関連性が指摘されているそうです。



歯周病の原因とされているものにプラーク（歯垢）があります。これが歯周ポケットに沈着することによって歯周病を引き起こします。そのため歯ブラシなどで除去することが大切になります。

歯周病との関連を挙げられているものには呼吸器系疾患、心疾患、糖尿病や妊娠などがあるそうです。なかでも糖尿病との関連は深く、糖尿病は歯周病を悪化させる大きな原因のひとつでもあるという話には驚かされました。さらに重症の歯周病になり、口の中に歯周病を引き起こしている細菌が多くなると、血液や呼吸器内に入り込んで、心筋梗塞・動脈硬化症・肺炎・早産などを引き起こしやすくなるといえます。

ラジオ講師は、口臭予防のためにも定期的な歯科検診などを受けることにより除去することで予防できると仰っていました。

年末年始労働災害防止強調期間

無事故の歳末 明るい正月

12月1日～1月15日

幸連川工事のアーチガルバート

年末年始は工期の終盤を迎えて輻輳化するとともに、寒冷地では積雪や凍結に起因する特有の災害が懸念される場所です。

このことから建災防では今年も「無事故の歳末 明るい正月」をスローガンに、12月1日から1月15日の期間、店社と作業所とが緊密な連携をとって労働災害防止活動を強く進めることを推奨しています。この期間は特に最高経営層による“特別安全パトロール”を実施して、作業所の安全管理体制と日常の活動を確認します。

また各作業所の管理者の皆さんは、墜落転落災害・建設機械等災害・凍結による転倒災害等をどのように防ぐのか、具体的な手立てを説明していただくよう準備願います。

“不具合”が発生した場合は関連帳票に記録すると共に、必ず「リスク評価シート」の見直しを行って下さい。この情報は部門長に伝達されて、次年度のリスク評価の基礎データとなります。

本号では歯周病菌の話題を取り上げました。プラークの蓄積は単に歯への影響にとどまらず、さまざまな疾患に及ぶことを知ってほしかったからです。この稿を書くにあたって調べるうちに、タバコが歯周病の発症や治療に大きな影響を与えることが分かりました。このことについては後日メールで発信しますので愛煙家諸氏はお楽しみに。(え)